

長崎から被災地へ



被災地支援のため、義援金を呼びかける大学生ら

「物心両面 支援末永く」

街は廃墟となり、人々は避難所で肩を寄せ合う……。東日本巨大地震がもたらした被害の惨状は、県民にも大きな衝撃を与えた。そして今、「自分たちにできることを」と、支援への思いは高まり、活動も始まっている。原爆投下や長崎大水害、雲仙・普賢岳災害などを経験し、その度に復興を成し遂げた長崎から、遠く離れた被災地に「頑張れ、東北」のエールを、みんなで送ろう。

1990年11月から5年
半続いた雲仙・普賢岳災害
をきっかけに設立され、数
々の被災地で活動している
NPO法人「島原ボランティア協議会」旭芳理事長
(56)に今、そして今後の支
援の在り方を聞いた。旭理
事長は「『国が壊れた』と

1990年11月から5年
半続いた雲仙・普賢岳災害
をきっかけに設立され、数
々の被災地で活動している
NPO法人「島原ボランティア協議会」旭芳理事長
(56)に今、そして今後の支
援の在り方を聞いた。旭理
事長は「『国が壊れた』と

1990年11月から5年
半続いた雲仙・普賢岳災害
をきっかけに設立され、数
々の被災地で活動している
NPO法人「島原ボランティア協議会」旭芳理事長
(56)に今、そして今後の支
援の在り方を聞いた。旭理
事長は「『国が壊れた』と

1990年11月から5年
半続いた雲仙・普賢岳災害
をきっかけに設立され、数
々の被災地で活動している
NPO法人「島原ボランティア協議会」旭芳理事長
(56)に今、そして今後の支
援の在り方を聞いた。旭理
事長は「『国が壊れた』と

ボランティア団体助言



「現地に必要なものを時期に応じて、続けてほしい」と話す旭理事長

「現地に必要なものを時期に応じて、続けてほしい」と話す旭理事長

長崎大生が募金活動

長崎大「経済サッカー部」の部員ら約20人は、16日、長崎市浜町の鉄橋で募金活動を始めた。17、18日も同町で活動し、集まった義援金は日本赤十字社県支部を通じて、被災地に届ける。活動を呼びかけた4年佐藤喜一さん(22)は「同じ日本人として、力になりたい」と話している。

募金箱の主な設置場所 ▽夢彩都地下サービスカウンターなど3か所▽アミューズプラザ長崎1階インフォメーション▽長崎浜屋本館1階案内所、7階お客様サロン(以上、長崎市)▽大村浜屋(大村市)1階昇りエスカレーター前▽イオン大塔ショッピングセンター(佐世保市)1階インフォメーションなど13か所

義援金の受付口座 ▽県共同募金会 ゆうちょ銀行(01870-8-22522)、十八銀行本店(638151)、親和銀行長崎営業部(5315882)、長崎銀行本店(2124658)。義援金の名称は「東北関東大震災義援金」で、名義は「社会福祉法人長崎県共同募金会」

今後のボランティアの活動については、約30の団体でつくる全国災害救援ネットワークの先遣隊が状況の把握に努めている。被災各

今後のボランティアの活動については、約30の団体でつくる全国災害救援ネットワークの先遣隊が状況の把握に努めている。被災各

今後のボランティアの活動については、約30の団体でつくる全国災害救援ネットワークの先遣隊が状況の把握に努めている。被災各

献血、継続的に

全国的に献血者が急増するなか、県赤十字血液センター(長崎市)は、血液製剤の使用期限は限られているため、時期をずらした継続的な協力を呼びかけている。血液の需要状況や献血

全国的に献血者が急増するなか、県赤十字血液センター(長崎市)は、血液製剤の使用期限は限られているため、時期をずらした継続的な協力を呼びかけている。血液の需要状況や献血